

精神障害者の就労を考える講演

# 勤続の大切さ確認

市福祉保健センター

精神障害者の就労を考える講演会が14日、三田市総合福祉保健センター（川除）であった。雇用促進に取り組むNPO法人や企業、障害のある当事者が語り合い、就労継続の大切さ呼び掛けた。

同市精神障害者支援センターが主催した。

大阪市のNPO法人「大阪精神障害者就労支援ネットワーク（J

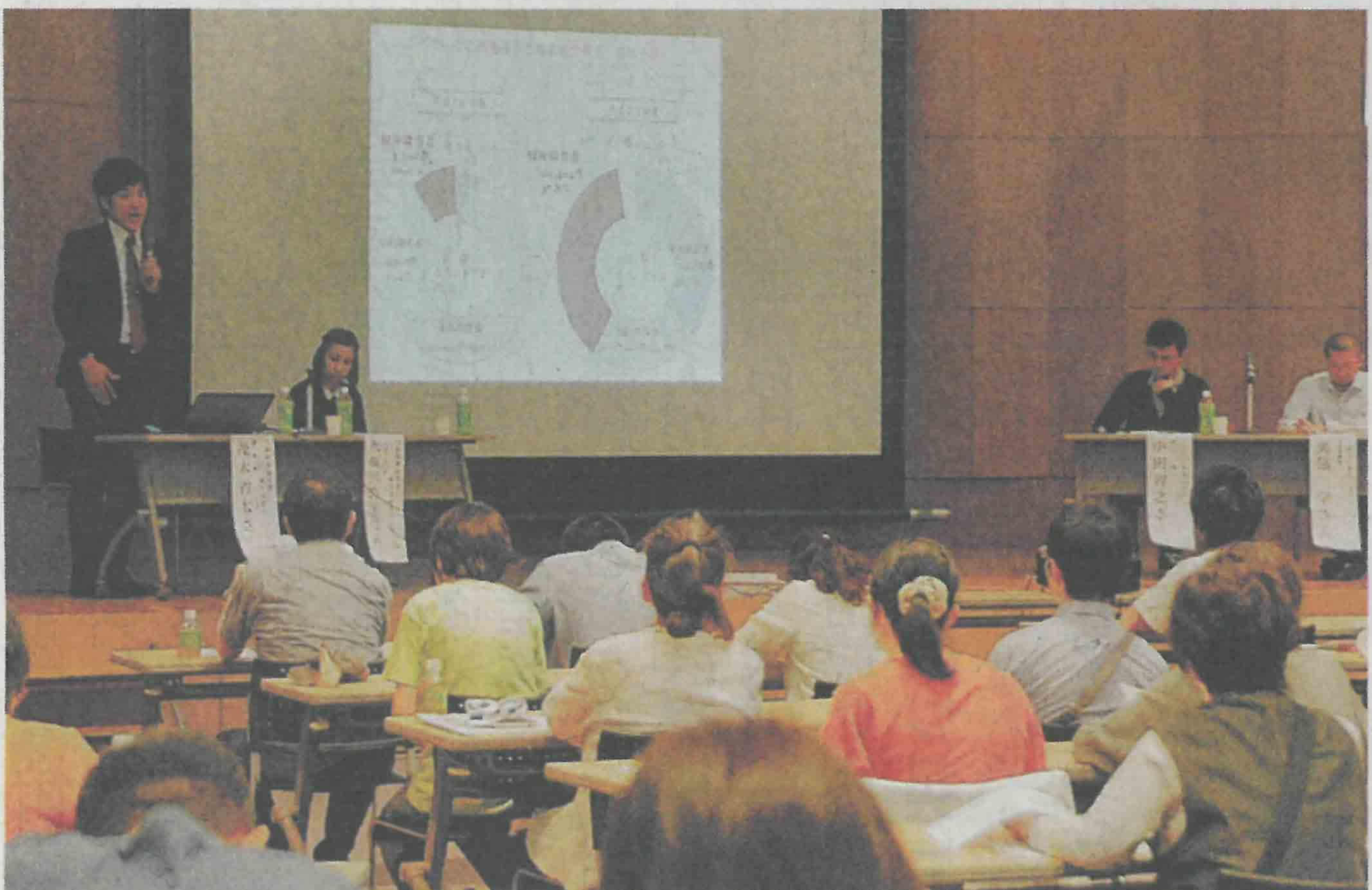
SN）新大阪」の茂木省太副所長は、雇用の現状や課題について講演。就職件数は年々増えている一方、身体的障害者に比べると、仕事を続ける人の増加幅が少なく、企業側に不安が根強いことを指摘した。

JSNの協力でシステム開発会社に再就職した大阪市の男性は、心

身の状態を日々記録することで自らを理解し、対応できたと振り返り、「病気であるこ

とをきちんと職場に伝えた方が相談しやすく、働き続ける環境が整う」と語った。

（神谷千晶）



精神障害者の雇用状況について熱心に聞き入る参加者ら＝三田市川除、市総合福祉保健センター